保健室

静岡市立清水岡小学校

養護教諭　大瀧　美保

〝丘はさみどり　しろがねの　富士にまむかい　立つ子らは～〟という歌い出しで始まる校歌のように、本校は静岡市清水区の中心部に位置し、校舎の窓から富士山がとてもよく見える学校です。近隣には清水中央図書館やサッカーで全国的にも有名な静岡市立清水商業高等学校、県立清水西高等学校があり、文教地域とも言われています。（余談ですが、清水商業高校は県立庵原高校と統合され、平成25年度から〝静岡市立清水桜ヶ丘高校〟として生まれ変わることになっています。）

本校の児童数は5月末現在699名、23学級です。外遊びの好きな子が多く、1時間目と2時間目の間のロング休みや昼休みには、たくさんの児童が運動場や中庭で元気よく遊んでいます。本校の特色の一つとして、県内でも珍しい芝生の運動場があり、休み時間にはサッカーや鬼ごっこをする子に混ざって、芝生の上に寝転がる子どもたちの姿が見られます。初めて芝生の上を歩いたときの「ふかふかして気持ちいい～。」と言う子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

また、学校教育目標「自立・友愛」と重点目標「輝く子　自分や友達のよさが分かり、共に学び合う子」に向かって、全職員で教育活動に取り組んでいます。

中でも、「輝く五つの輪」を合い言葉に、自慢を磨くことに力を入れています。五つの輪とは、〝あいさつ・そうじ・歌声・集会・めあて〟です。それらを通して自分のよさや相手のよさを見つけ、お互いに認め合うことができる子を育てたいと思っています。

例年1月頃には地域公開日があり、多くの保護者や地域の方々が学校での子どもたちの様子を見るために学校を訪れてくださいます。昨年度はこの地域公開日に会わせて学校保健委員会を実施しました。児童の参加は6年生約100名でしたが、保護者や地域の方々合わせて60名近くが参加してくださり、テーマだった〝喫煙〟についてみんなで考えたり学んだりするよい機会となりました。

時代が変わり、家庭環境や地域の様子も変わっていきますが、私たち大人が子どもたちの健やかな成長を願う気持ちはいつの時代も変わらないのではないでしょうか。これからも、子どもたちがいつも笑顔でいられるよう、微力ながら支えていきたいと思います。

伊東市立南中学校

養護教諭　岡村めぐみ

本校は、生徒数668名、学級数23学級（特別支援学級を含む）の伊東市内で一番大きな中学校です。主に4つの小学校から本校に入学してくるので、生徒たちは、学校生活の中で新しい人間関係を築き、校友を広げていきます。

そのため、互いに認め合い、思いやりの心を大切にした人間関係づくりは重要な課題です。本校では、「ソーシャルスキル」と題して、人間関係づくりプログラムを実施しています。日常生活の中で自然にみられる男女の仲の良さや、個を理解し認め合うかかわりの様子は、とても爽やかで、ほのぼのとしています。

本校では、学校教育目標「未来を切り拓く人間性豊かな生徒」の実現に向けて、重点目標を「自分の持ち味を発揮できる生徒」としています。すべての教育活動において、生徒が課題を発見し、追究していく姿を引き出すことに努めています。

また、学校経営目標の中の一つにある「時を守り、場を清め、礼を尽くす」指導の徹底については、様々な教育活動の中で意識して取り組んでいます。

伊東市の中学校では、1校を除き、学校給食が実施されていません。そのため、生徒は、毎日お弁当を持って登校します。昼食指導では、時間を守って準備をすることにより食事の時間を十分に確保し、環境を整えて食事の場を清め、感謝の気持ちをもって「いただきます」「ごちそうさまでした」の礼を尽くす指導を心がけています。また、6月の食育月間を利用して、朝食の大切さやお弁当の栄養バランス等の指導を計画し、「自己管理能力の向上を目指す」学校経営目標にも迫っていきたいと思います。

さらに「自己管理能力の向上を目指す」ための取組として、「生活習慣チェック」を定期的に実施しています。十分な睡眠の確保を重点にして就寝時刻と起床時刻の目標を設定したり、熱中症対策として朝食の内容に視点をあてたりして、時に応じた「生活習慣チェック」を実施することにより、自己管理能力の向上を目指しています。

今、保健室では、緊急災害時に備えて、医薬材料等の備蓄や要管理生徒の薬品管理など、危機管理について整備をすすめています。いざという時に、よりよい判断と対応ができるように、「人」「物」「環境」を整えることに努めています。緊急を要する傷病の発生、感染症の流行、自然災害への対応など、様々なことに対応できる保健室であるように、学校や地域、家庭の状況を把握し、実態に応じて、柔軟性と発展性を大切にしていきたいと思います。

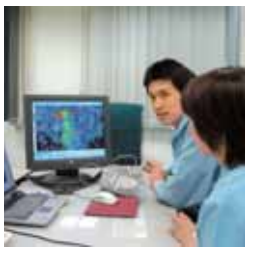
今後も、養護教諭ならではの感性を持ち味にして、心やからだの変化を敏感に感じ、生徒に寄り添いながら、「今」を逃さない学校保健活動を推進していきたいと思います。

げんきな事業所

持田製薬株式会社　御殿場事業所　創薬研究所　開発研究所

（御殿場市神場字上ノ原七二二）

持田製薬㈱御殿場事業所は1982年（昭和57年）に富士中央研究所として開設され、今年で30年をむかえる事業所です。新しい医薬品候補を見いだす創薬研究や、新薬の承認を目指す候補品、発売を経た医薬品について、より学術的な評価を得るための開発研究を行なっています。



敷地は面積約1万坪、緑化率は約54％と、緑に囲まれたなかで総勢200名近くの方が働いています。

当事業所では安全で快適な研究開発が行える職場環境を形成するため、以下の社員健康管理、安全衛生や職場環境改善に取り組んでいます。

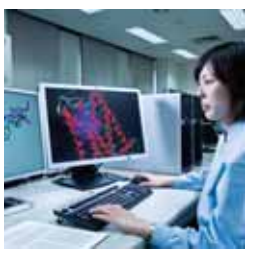
御殿場事業所

安全衛生面では、衛生管理者による巡視を毎週、安全衛生委員会、防災委員会等の委員メンバーで構成される安全衛生巡回、産業医による巡回を毎月実施するなど、実地確認による改善に力を入れています。また、年1回事業所全員が参加して職場リスクマネジメント活動を行ない、各職場での検討結果を集約して発表する機会を設けています。

勤務体制は、フレックスタイム制に加えて2008年（平成20年）には研究員の一部を対象に裁量労働制を導入しました。福利厚生では、健康な体作りの一助となるよう、昨年度は事業所内のテニスコート1面をハードコートから砂入りの人工芝カーペットを敷いたコートに改修し、フットサルもできる兼用コートとしてリニューアルしました。

また、弊社グループが加入する健康保険組合の協力により、2008年度（平成20年度）から2011年度（平成23年度）の間、希望参加者によるウォーキングマイレージ制度が導入されました。日々の万歩計に記録された歩数データを送信することで累積し、全歩数に応じた額を参加者が多数希望する社会貢献活動を行う団体に寄贈しています。今後も製薬会社の研究所として、安全快適な環境のもとで人々の健康に役立つ医薬品が生み出せるよう、努力を続けていきます。

持田製薬グループは東京都新宿区四谷に本社をおき、グループ会社は持田製薬工場㈱、持田ヘルスケア㈱、㈱持田インターナショナル、㈱テクノネットがあります。持田製薬グループは、「先見的独創と研究」の考えのもとに、総合健康関連企業グループならではの事業活動を行っています。中核事業として、循環器、産婦人科、皮膚科、救急、精神科の重点領域を中心に、オリジナリティの高い医薬品を開発販売している医薬品事業、医薬品開発で培った経験と皮膚科学に基づいて、敏感肌にやさしいスキンケア製品を開発販売しているヘルスケア事業、新たなチャレンジの一環として、健康補助食品を開発販売する健康補助食品事業があります。わたしたち持田製薬グループは、今後も社会から必要とされる、他に真似のできない「顔」のある総合健康関連企業グループとして、人々の健康・福祉にいっそう貢献してまいります。



持田製薬本社

【持田製薬の“ダイエットサポートサプリ”「ペッコリーナ」を抽選で100名様へプレゼント】

応募方法は、ハガキに、住所、氏名、生年月日、職業、電話番号をご記入のうえ、下記までご応募ください。

〒160-0008　東京都新宿区三栄町9
㈱持田インターナショナル
「けんこう静岡ペッコリーナプレゼント」係

お問い合わせ
㈱持田インターナショナル
サプリメント相談窓口
0120－797－920
https://www.vitacollage.jp/

※個人情報の取り扱いについて
ご応募のお客様に関する情報は、商品発送、郵便・電話による弊社商品のご案内のほか、商品・サービスの参考とするための個人を特定しない統計情報として利用させていただきます。